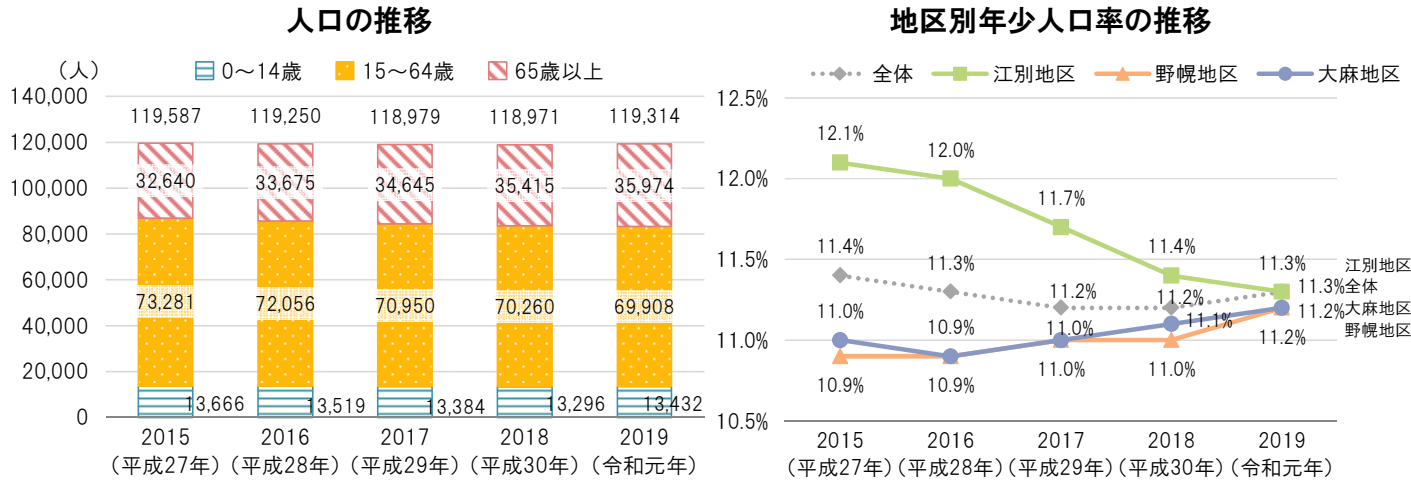


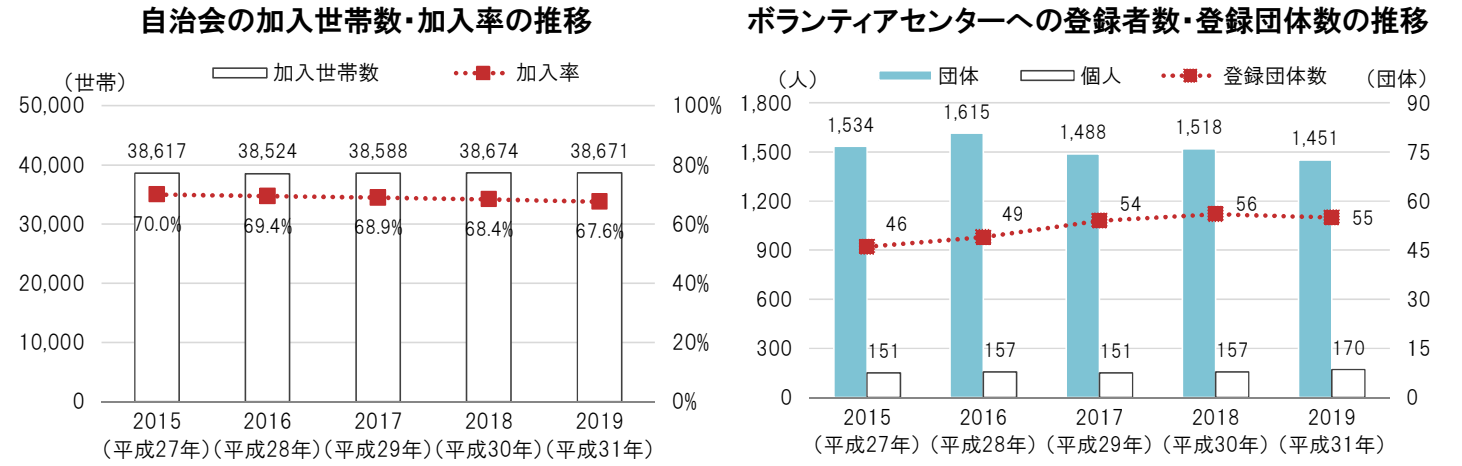
人口及び世帯などの状況

- ✓ 総人口は減少傾向にある
- ✓ 0～14歳の割合は11.3%、65歳以上の割合(高齢化率)は30.2%となり、少子・高齢化が続いている状況
- ✓ 地区別に年少人口率をみると、江別地区は減少が続いているが、野幌地区と大麻地区では割合が増え、令和元年には両地区ともに11.2%となっている
- ✓ 高齢者世帯(65歳以上がいる世帯)は増加が続いている



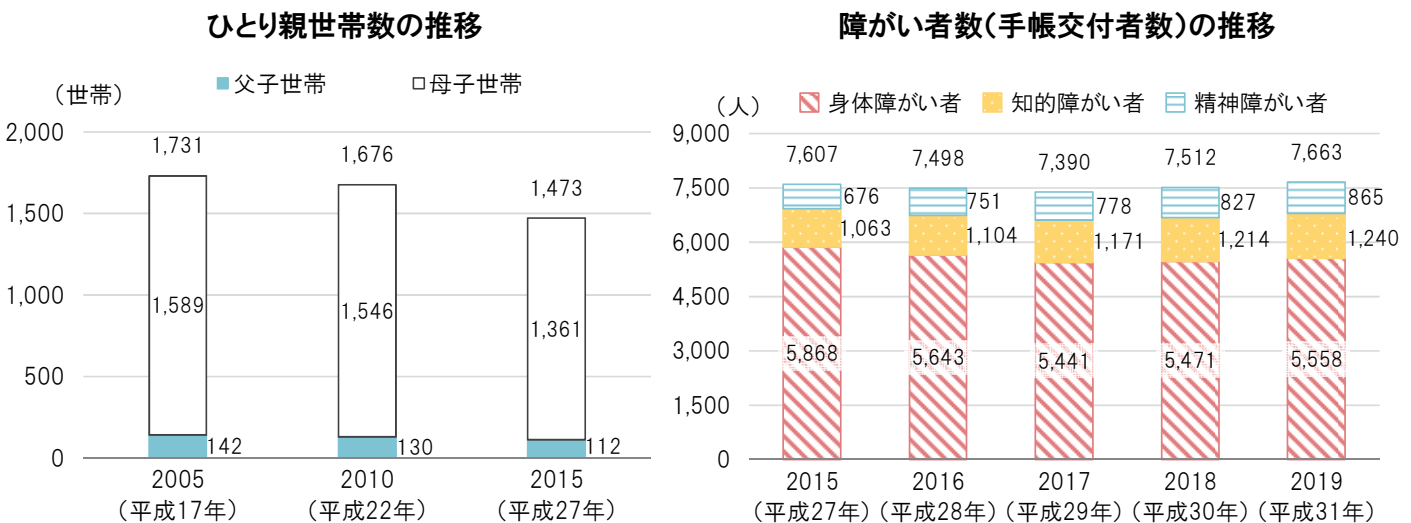
地域活動の現状

- ✓ 自治会加入世帯数、加入率ともに減少傾向が続いている
- ✓ ボランティアセンターへ登録されている団体登録者数は増減を繰り返しているが、個人登録者数は増加傾向にあり平成31年には170人となっている
- ✓ 高齢者クラブ連合会会員数は減少が続いている



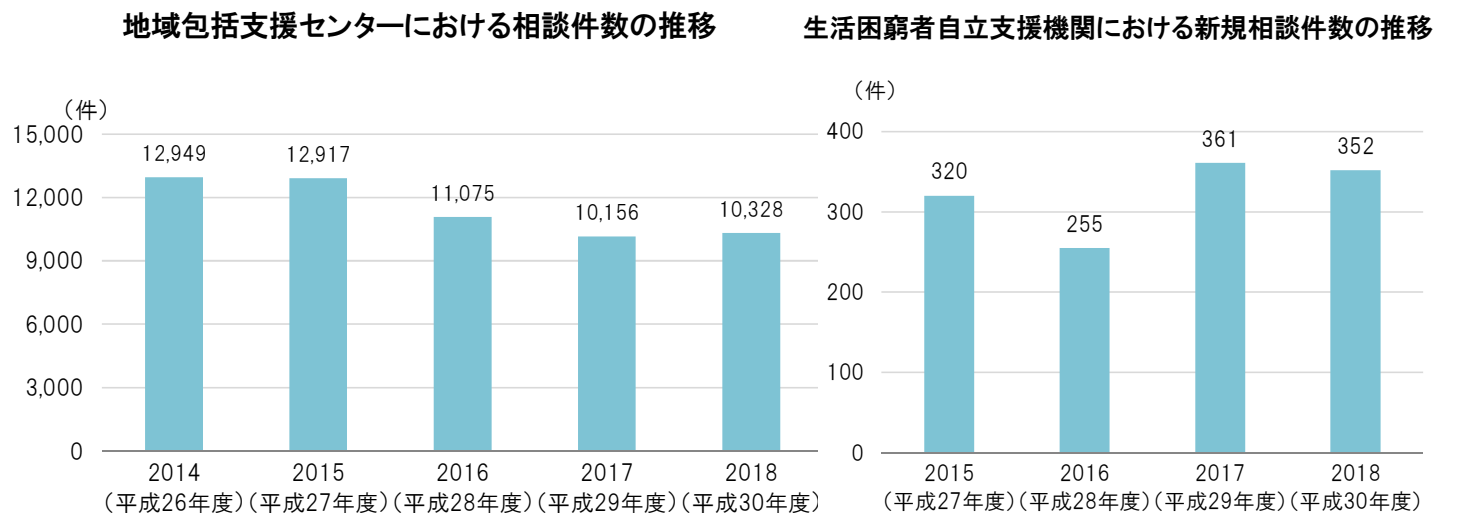
社会的支援が必要な方の状況

- ✓ ひとり親世帯は、父子、母子世帯ともに減少傾向
- ✓ 生活保護受給者数は、ほぼ横ばいが続いている
- ✓ 各障がい者数(手帳交付者数)は、いずれも近年増加傾向にある



各種相談窓口

- ✓ 地域包括支援センターにおける相談件数は、平成26年度以前は大幅に増加を続けており、以降は減少傾向ではあるものの、平成25年度以前に比べると相談件数は増加したままの状況にある
- ✓ 子育てに関する相談件数は、増加が続いている
- ✓ 生活困窮者自立支援機関における新規相談件数は、増減を繰り返している



# 地域を取り巻く現状と課題

## 1 人口及び世帯などの状況

### (1) 市の状況

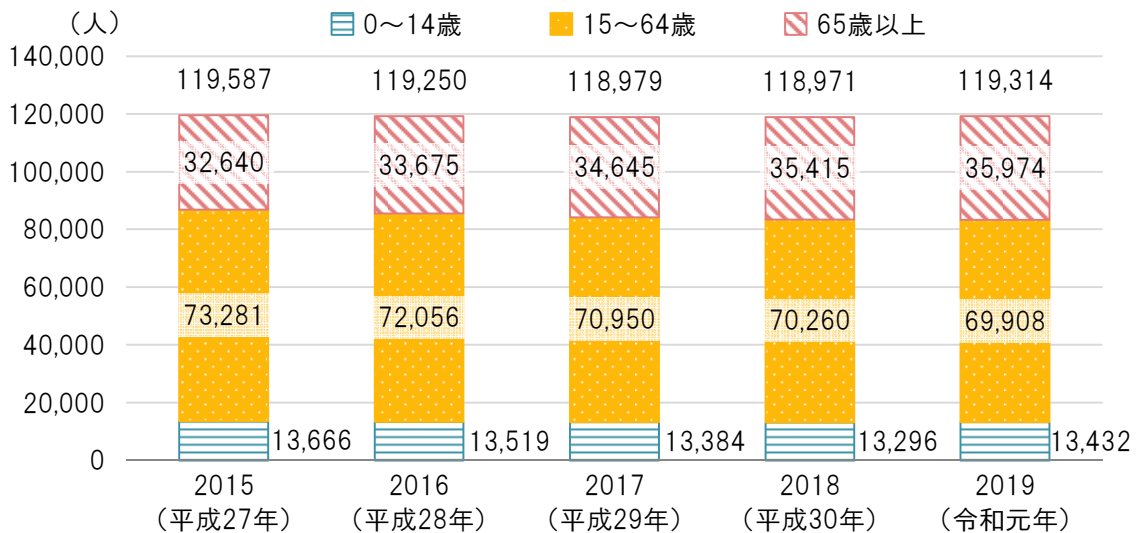
#### ① 人口

平成 27 年以降の総人口は減少傾向にあり、令和元年には 119,314 人となっています。

年齢 3 区分別にみると、0～14 歳（年少人口）は平成 30 年まで減少傾向にありましたが、令和元年には増加し、比率は 11.3%となっています。15～64 歳（生産年齢人口）は減少傾向、65 歳以上（老年人口）は増加傾向（高齢化率は 30.2%）となり、少子・高齢化が続いている状況にあります。

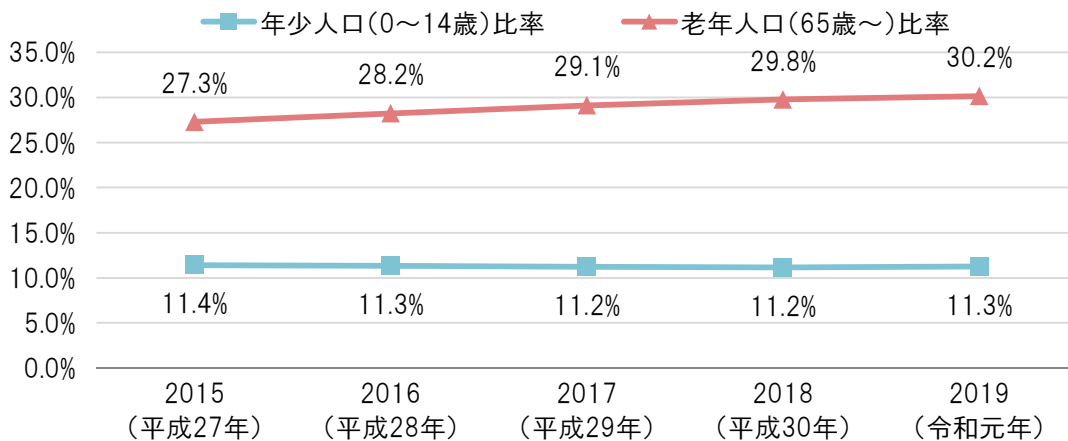
※(1)市の状況(2)地区別の状況の令和元年の値は、7月1日現在の情報となります。(今回の委員会資料のみ)

図表1 人口の推移



資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日）

図表2 年少人口率・高齢化率の推移



資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日）

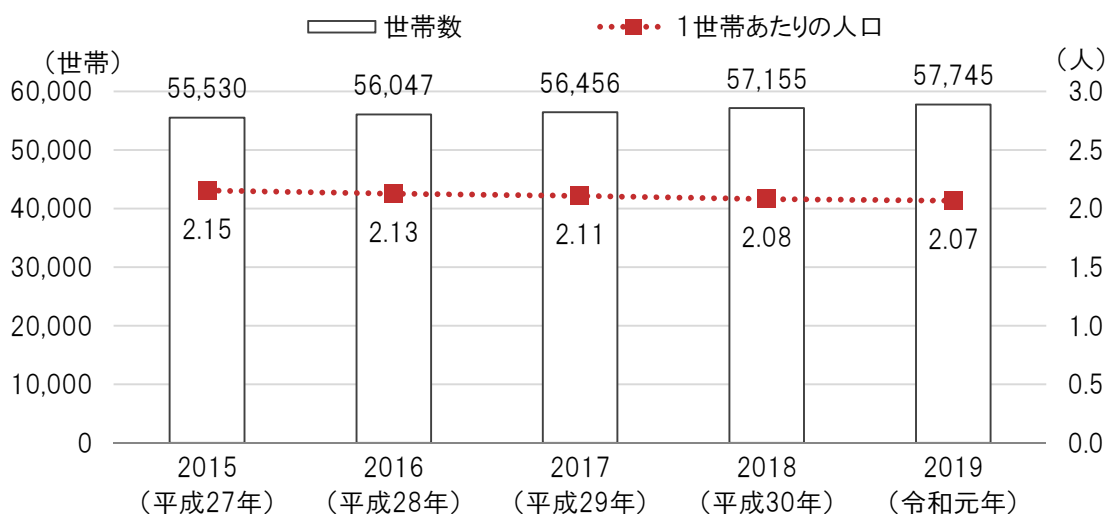
## ② 世帯数

平成 27 年以降の総世帯数は増加傾向にあり、令和元年には 57,745 世帯となっています。

総人口は減少、総世帯数は増加していることから、1 世帯あたりの人口は減少しており、令和元年には 1 世帯あたり 2.07 人となっています。

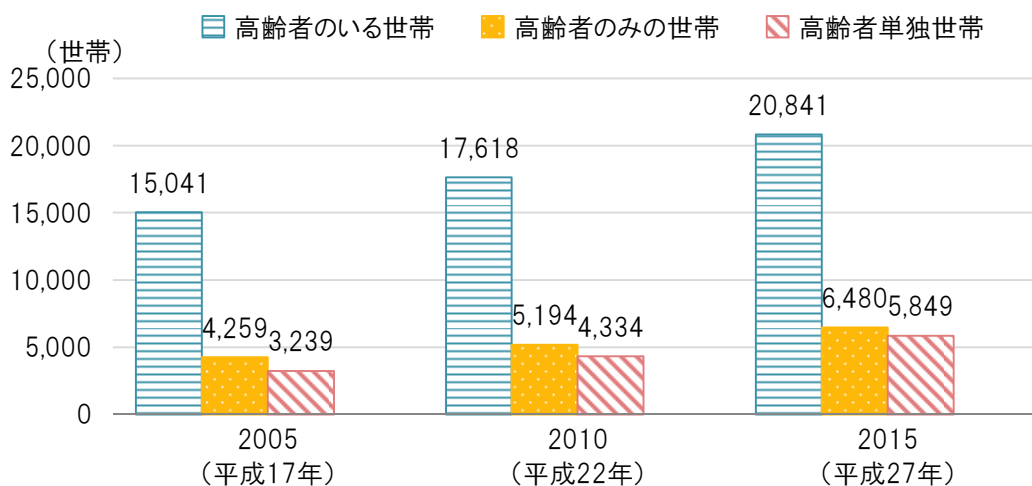
また、高齢者世帯は増加しており、平成 27 年には高齢者のいる世帯（2 人以上の世帯のうち、65 歳以上の高齢者が 1 人以上いる世帯）は 20,841 世帯、高齢者のみの世帯（いずれも 65 歳以上の夫婦）は 6,480 世帯、高齢者単独世帯（65 歳以上の単独世帯）は 5,849 世帯となっています。

図表 3 世帯数・1世帯あたり人口の推移



資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日）

図表 4 高齢者世帯の推移



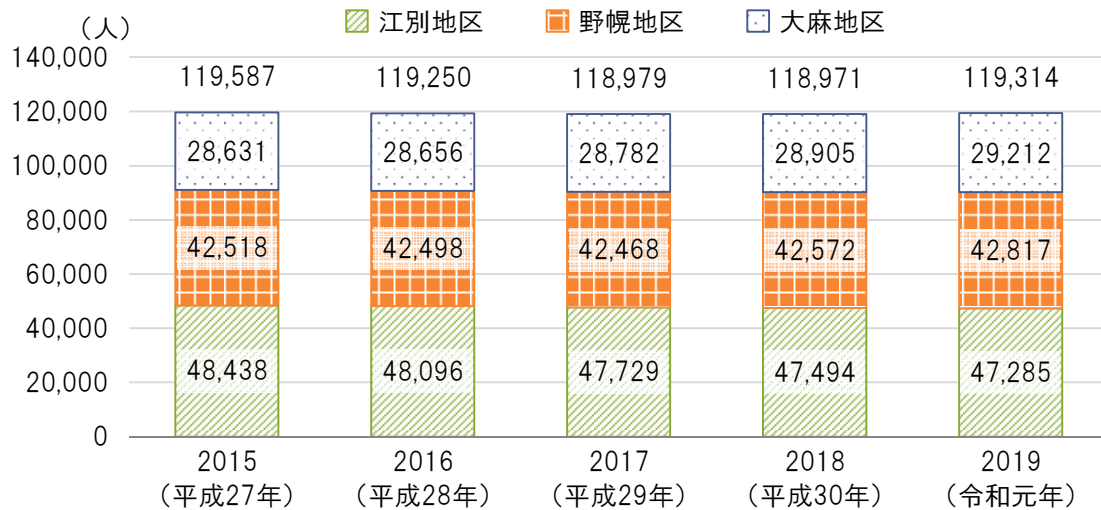
資料：国勢調査

## (2) 地区別の状況

平成 27 年以降の地区別人口は、江別地区は減少傾向にあり、令和元年には 47,285 人となっています。

野幌地区は平成 30 年より増加傾向にあり、令和元年には 42,817 人、大麻地区は全体で占める割合は少ないが増加傾向にあり、令和元年には 29,212 人となっています。

図表 5 地区別人口の推移



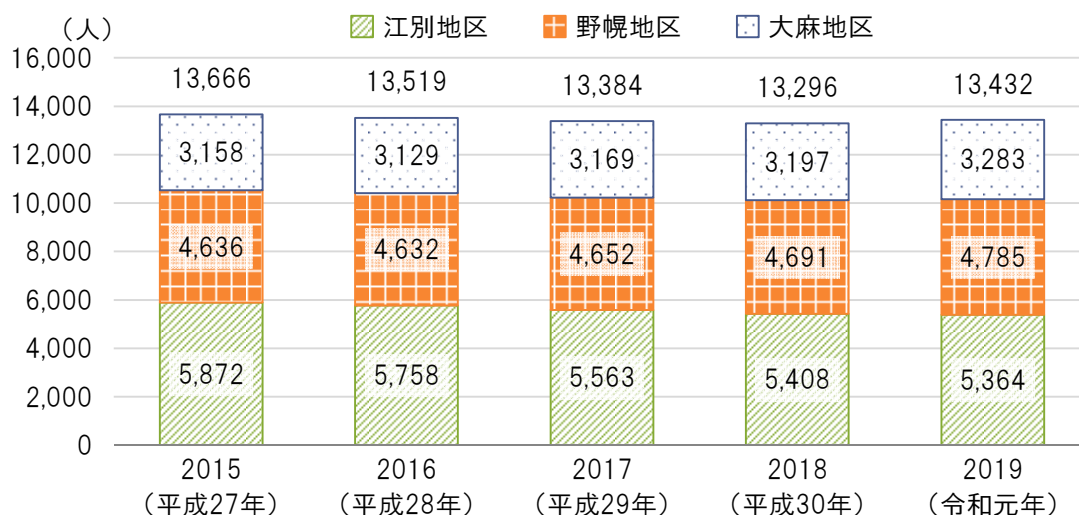
資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日）

① 年少人口

地区別の年少人口は、江別地区は減少傾向にあります。野幌地区と大麻地区では平成 29 年から増加傾向となっています。

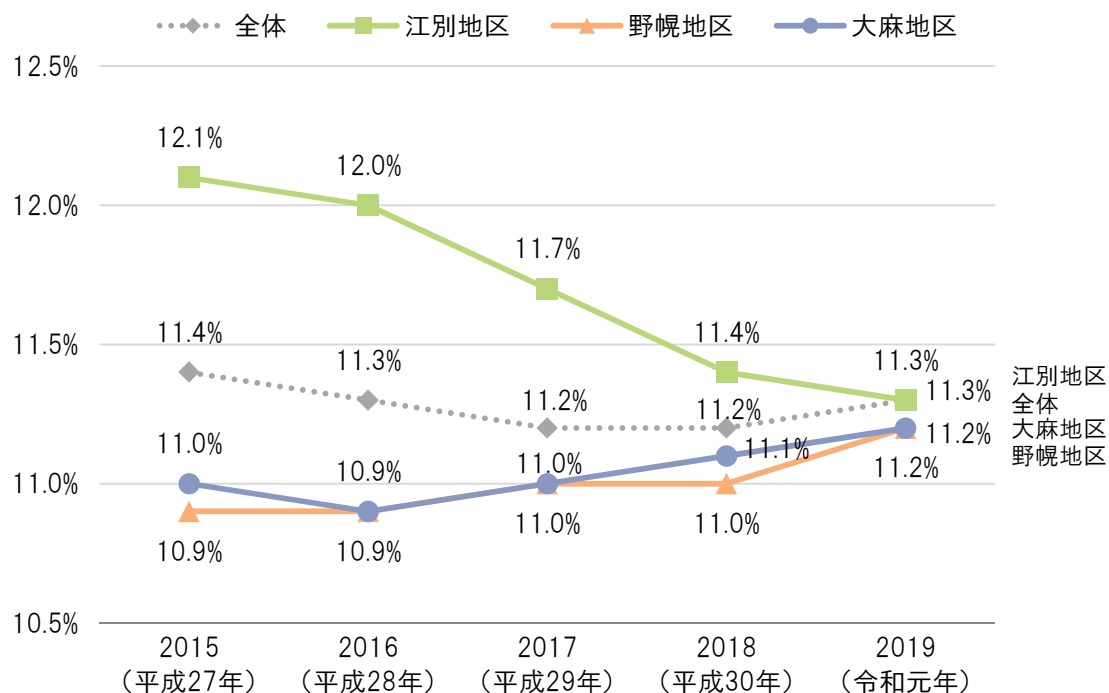
年少人口率の推移をみると、江別地区は割合の減少が続いていますが、野幌地区と大麻地区では割合が増え、令和元年には両地区ともに 11.2% となっています。

図表 6 地区別年少人口の推移



資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日）

図表 7 地区別年少人口率の推移



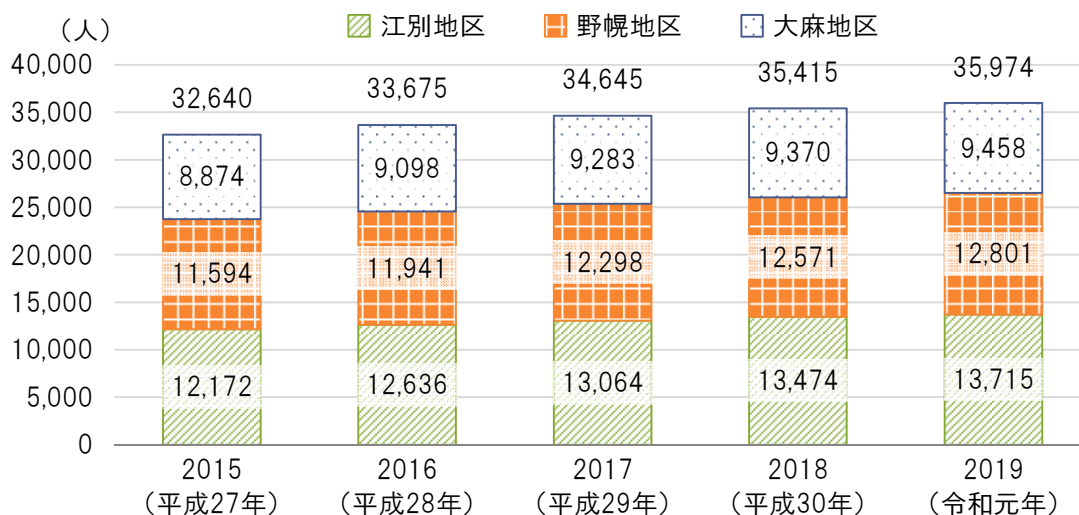
資料：住民基本台帳（各年 10 月 1 日）

② 高齢者人口（老年人口）

地区別の高齢者人口は、全ての地区で増加傾向にあります。

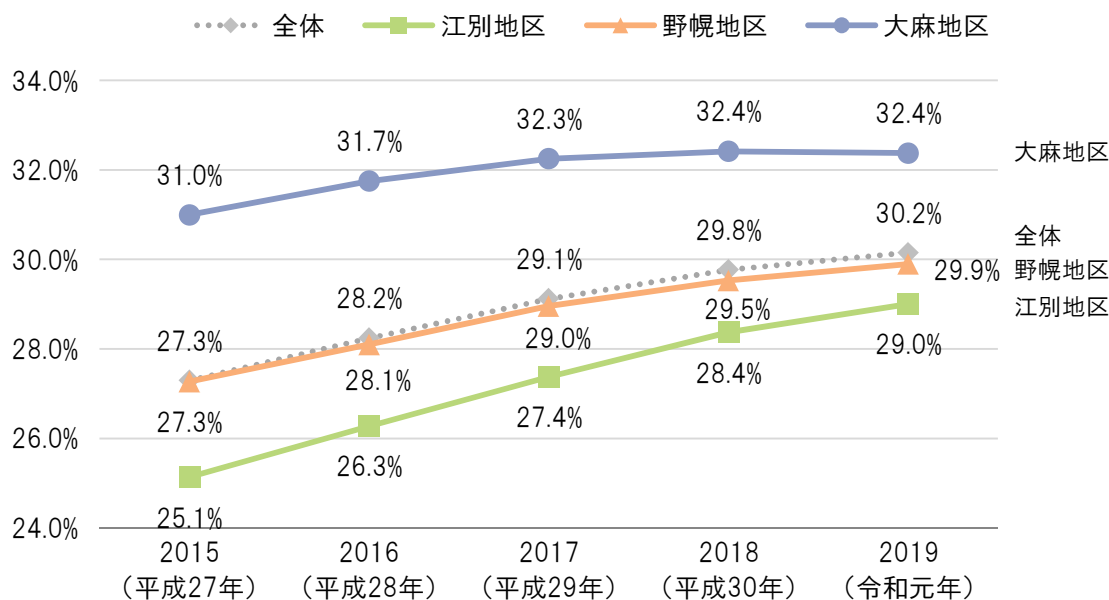
高齢化率の推移をみると、大麻地区が最も高く、令和元年には32.4%となっていますが、平成30年からは横ばいとなっています。江別地区と野幌地区はともに増加が続いており、令和元年には江別地区で29.0%、野幌地区で29.9%となっています。

図表8 地区別高齢者人口の推移



資料：住民基本台帳（各年10月1日）

図表9 地区別高齢化率の推移



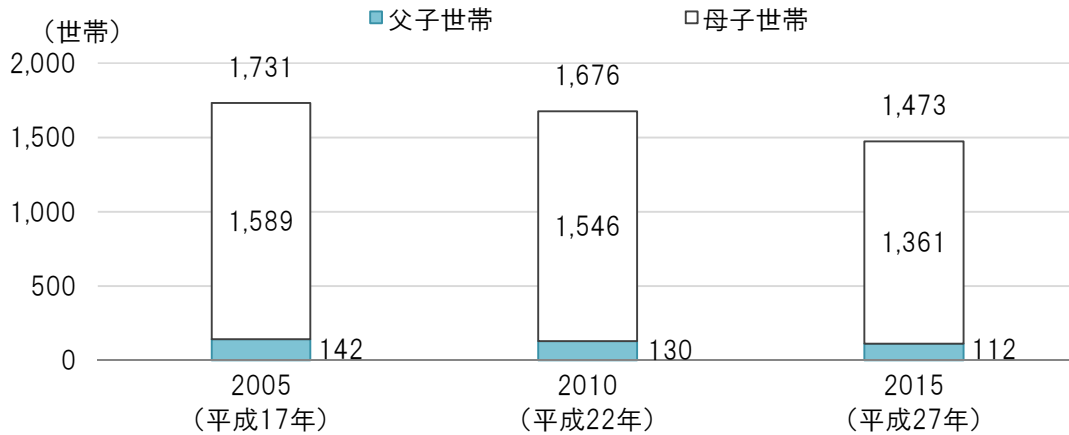
資料：住民基本台帳（各年10月1日）

(3) 社会的支援が必要な方の状況

① ひとり親世帯（18歳未満の子どもがいる世帯）

平成17年以降、ひとり親世帯数は父子世帯、母子世帯ともに減少を続けており、平成27年には全体で1,473世帯、父子世帯は112世帯、母子世帯は1,361世帯となっています。

図表10 ひとり親世帯の推移

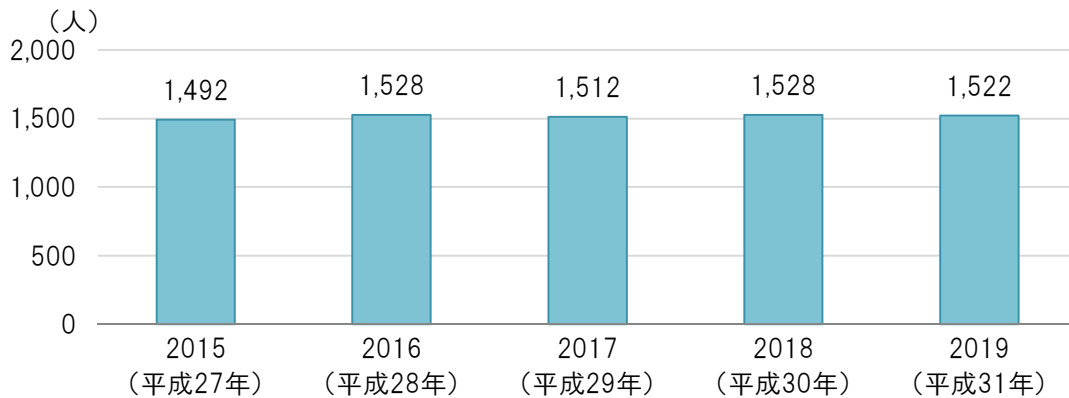


資料：国勢調査

② 生活保護受給者

平成27年以降、生活保護受給者はほぼ横ばいが続いており、平成31年には1,522人となっています。

図表11 生活保護受給者の推移



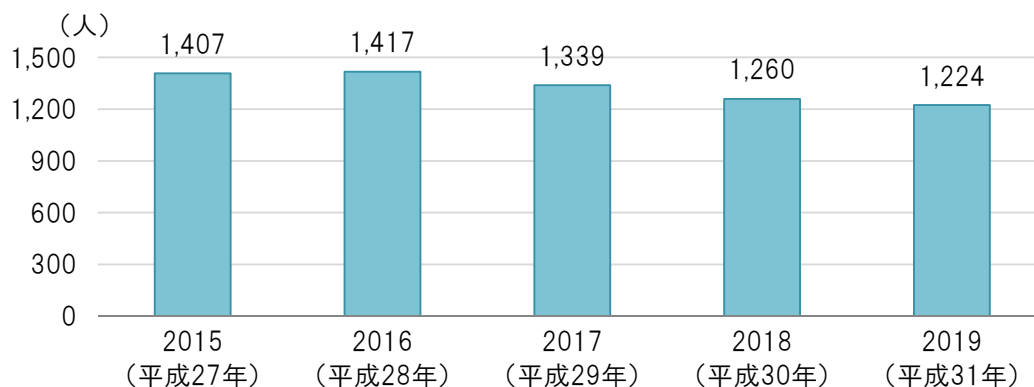
資料：江別市調べ（各年4月1日）

### ③ 避難行動要支援者避難支援制度登録者

本市は、災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がいのある方などが、安全に避難したり、円滑に援助活動を受けることができるように、避難行動要支援者避難支援制度を実施しています。

登録者数は平成 28 年までは増加傾向が続いていましたが、平成 28 年以降は減少傾向となっており、平成 31 年には 1,224 人に減少しています。

図表 12 避難行動要支援者避難支援制度登録者の推移



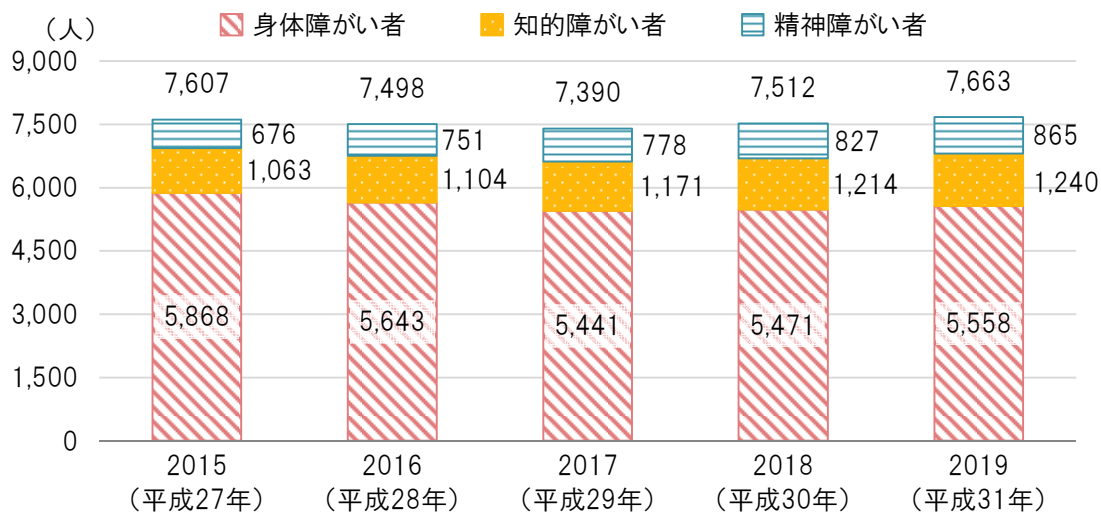
資料：江別市調べ（各年 4 月 1 日）

### ④ 障がいのある方（手帳交付者）

障がい者（手帳交付者）全体をみると、平成 29 年まで減少傾向となっていましたでしたが、その後増加傾向となり、平成 31 年には 7,663 人となっています。

障がい種別では、平成 31 年には身体障がい者は 5,558 人で最も多く、知的障がい者は 1,240 人、精神障がい者は 865 人となっています。

図表 13 障がい者数(手帳交付者数)の推移



資料：江別市調べ（各年 4 月 1 日）



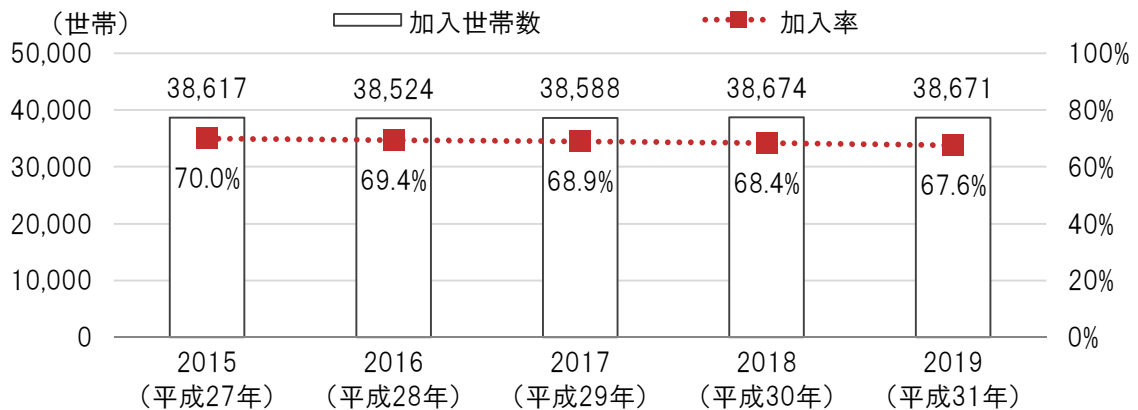
## 2 地域活動の現状

### (1) 自治会

平成 31 年 4 月 1 日現在、市内には 162 の自治会があります。

自治会加入世帯数は平成 27 年から比較すると増加傾向にあり、加入率は減少傾向が続いています。平成 31 年には加入世帯数が 38,671 世帯、加入率は 67.6%となっています。

**図表 14 自治会の加入世帯・加入率の推移**



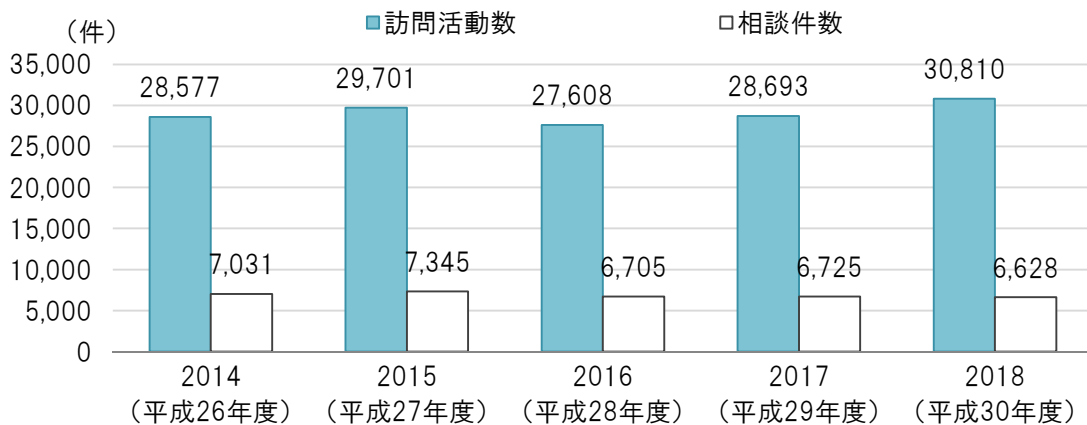
資料：江別市調べ（各年 4 月 1 日）

### (2) 民生委員・児童委員

平成 31 年 4 月 1 日現在の民生委員・児童委員数（定員数）は 248 人となっておりますが、引き続き高齢化と担い手不足が深刻な状況です。

民生委員・児童委員の訪問活動数は平成 28 年度以降増加傾向で、平成 30 年度には 30,810 件となっています。相談件数は、平成 28 年度以降はほぼ横ばいで、平成 30 年度には 6,628 件となっています。

**図表 15 民生委員・児童委員の訪問活動・相談件数の推移**



資料：江別市調べ

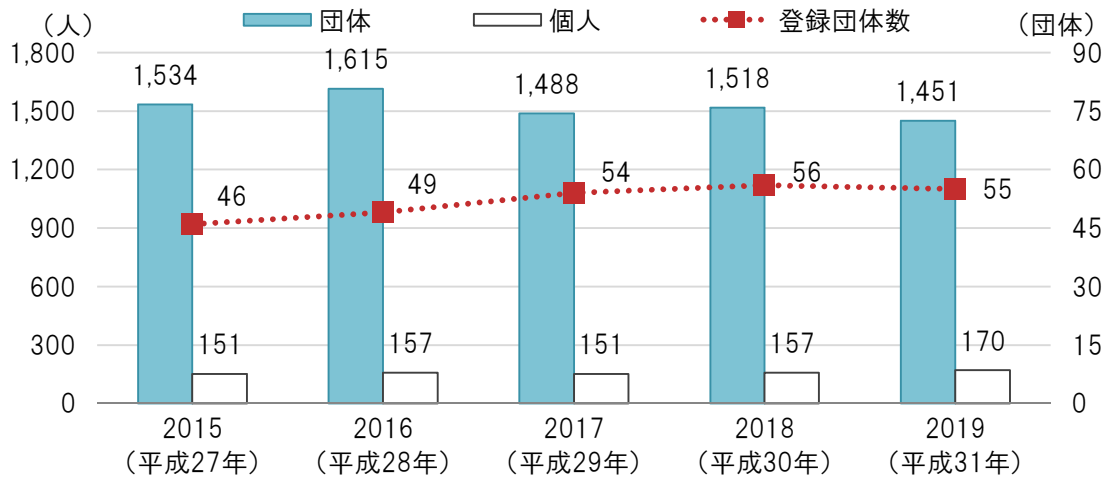
(3) ボランティア団体等

① ボランティア登録

江別市社会福祉協議会は、ボランティアの活動拠点としてボランティアセンターを運営しており、ボランティアセンターに登録している団体がボランティア団体連絡会を構成しています。登録団体数は平成31年に55団体となっています。

登録している団体の会員数は増減を繰り返し、平成31年には1,451人、個人登録者数は170人となっています。

図表 16 ボランティアセンターへの登録者数・登録団体数の推移



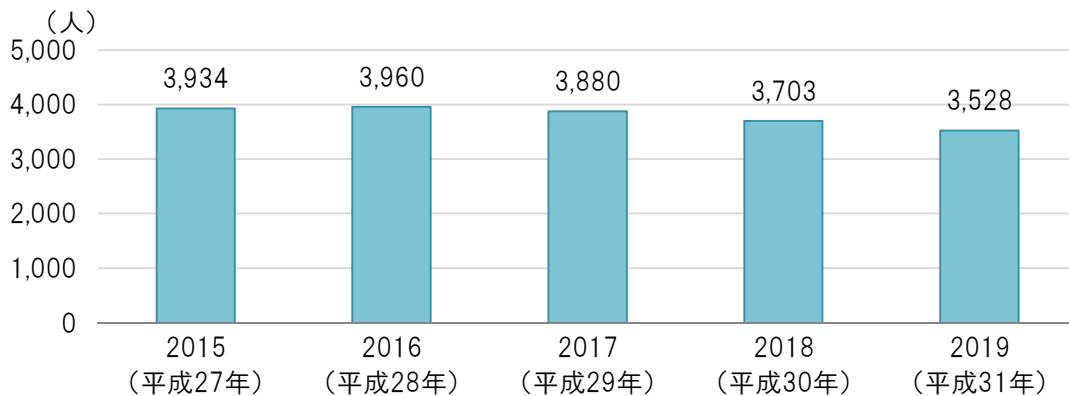
資料：江別市調べ（各年4月1日）

② 高齢者クラブ連合会

高齢者クラブ連合会に所属するクラブ数は、平成31年4月1日現在65となっており、ほぼ横ばいの状況です。

平成28年以降は会員数の減少が続いており、平成31年には3,528人となっています。

図表 17 高齢者クラブ連合会会員数の推移

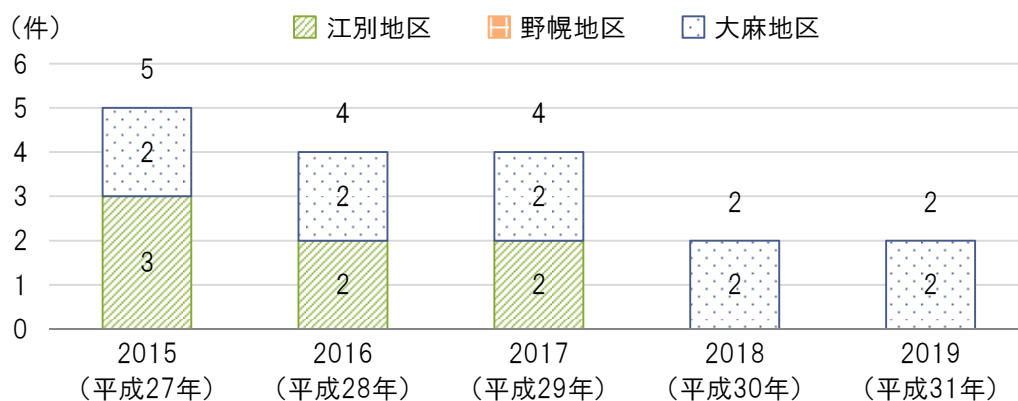


資料：江別市調べ（各年4月1日）

### ③ 育児サークル

子育て中の母親と子どもを対象とした育児サークルで市が把握しているものは、平成 27 年以降、サークルの数が減少を続け、平成 30 年には大麻地区の 2 サークルとなっています。

**図表 18 育児サークル数の推移**



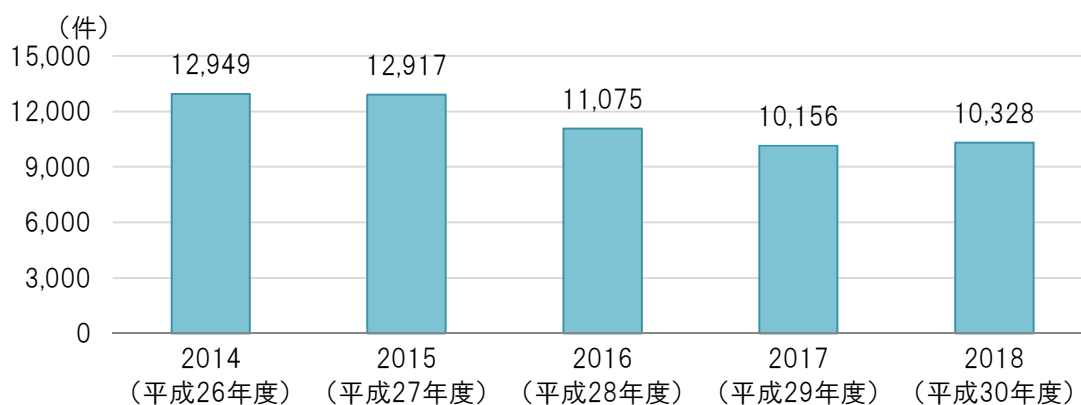
資料：江別市調べ（各年 4 月 1 日）

### (4) 各種相談窓口

#### ① 地域包括支援センターにおける相談

平成 26 年度までの相談件数は大幅に増加を続けていましたが、平成 27 年度からは減少が続いており、平成 30 年度には若干増加して 10,328 件となっています。

**図表 19 地域包括支援センターにおける相談件数の推移**

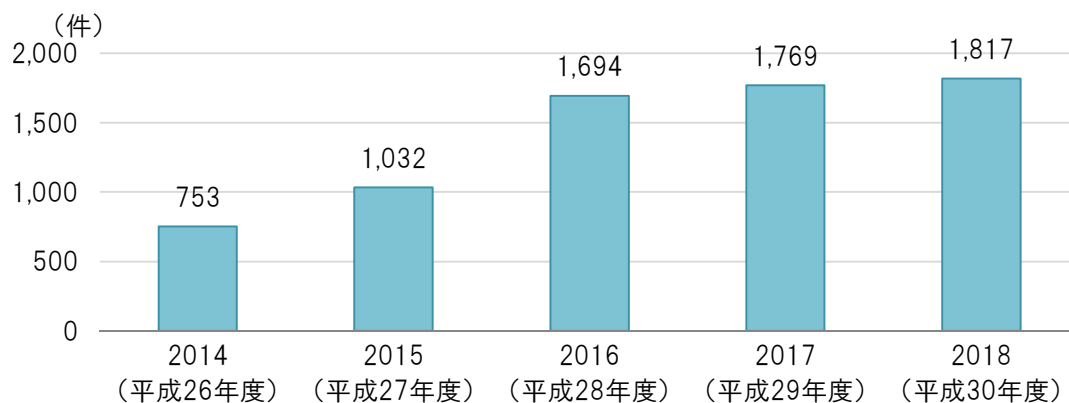


資料：江別市調べ

## ② 子育てに関する相談

平成 26 年度以降、子育てに関する相談件数は新たな事業の開始もあり、増加を続けており、平成 30 年度には 1,817 件となっています。

**図表 20 子育てに関する相談件数の推移**



資料：江別市調べ

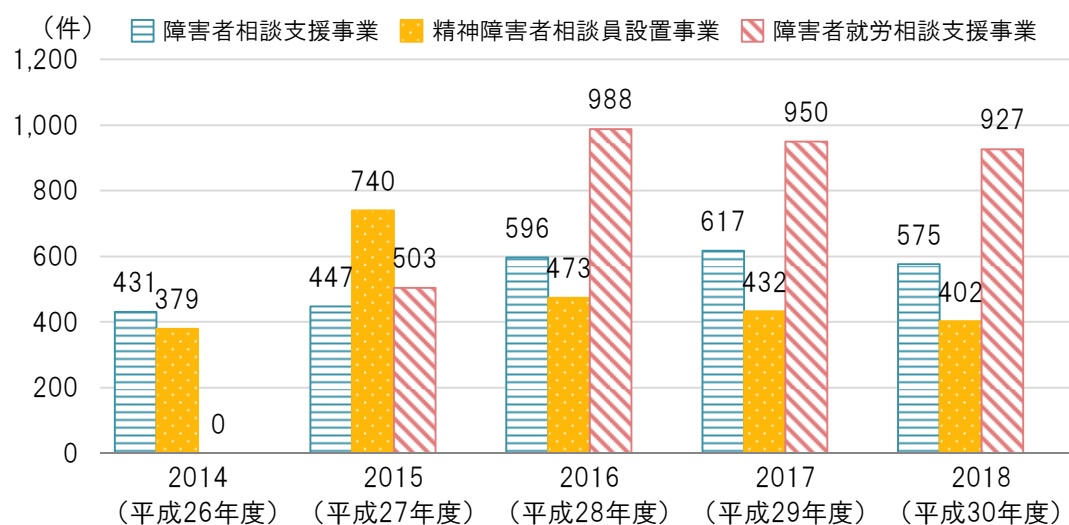
## ③ 障がいに関する相談

平成 26 年度以降、障害者相談支援事業は増加傾向にありましたが、平成 30 年度は若干減少し 575 件となっています。

精神障害者相談員設置事業は平成 27 年度以降減少傾向にあり、平成 30 年度は 402 件となっています。

障害者就労相談支援事業は、平成 27 年 8 月から事業を開始しており、平成 30 年度は 927 件となりました。

**図表 21 障がいに関する相談件数の推移**

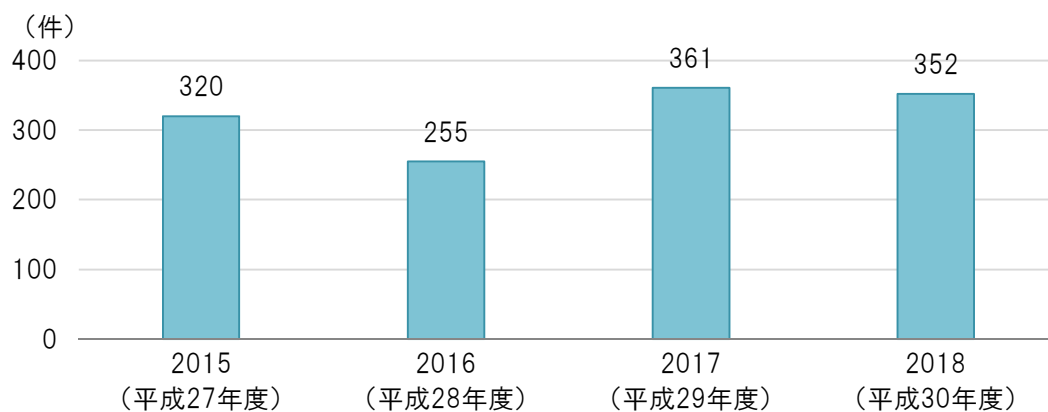


資料：江別市調べ

#### ④ 生活困窮者自立支援機関における相談

平成 27 年度に開始された生活困窮者自立相談支援事業は、新規相談件数は増減を繰り返しており、平成 30 年度には 352 件となっています。

図表 22 生活困窮者自立支援機関における新規相談件数の推移



資料：江別市調べ